

# 携帯電話メールだけを使った災害時連絡システムの仕様と実装と活用

吉田 基崇<sup>1</sup>・日下部 晃志<sup>2</sup>

<sup>1</sup>株式会社リーンシステム

E-mail: [mototaka.yoshida@lean-system.co.jp](mailto:mototaka.yoshida@lean-system.co.jp)

<sup>2</sup>松下政経塾 25期生 防災士

災害発生時に携帯電話メール(以下、携帯メール)を活用し情報を連絡することは、災害発生時の前後において、被害軽減のため有効である。災害には、被害が発生するまでの時間スケールにより2種類ある。「予期できぬ災害」と、「予期できる災害」である。本研究では、発生までの時間スケールと被害規模に応じて、携帯電話を使った連絡システムの仕様を考察する。その仕様に沿ったシステムの実装方法、ならびに2008年より活用しているPTA緊急連絡メールシステム「マモリちゃん(<http://mamori.ch>)」について紹介する。本システムの開発に至った被災経験として2005年福岡県西方沖地震と、実際の活用事例として2010年9月7日台風9号とを取り上げる。

キーワード：緊急連絡，携帯電話メール，PTA